

● 第4号様式（第10条関係）

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	令和4年度第2回生涯学習審議会
開 催 日 時	令和4年6月23日（木） 午後2時～午後3時45分
開 催 場 所	さくらホール集会室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：齊藤委員、石橋委員、原田委員、三品委員、渡辺委員、 吉田委員、河原塚委員、中里委員、長瀧委員、木下委員、 長堀委員 事務局：文化振興課長、文化振興課生涯学習係係長・主事
議 題	議題1：令和4・5年度の生涯学習振興のテーマについて 議題2：令和5年度の公民館講座について
結 論 （決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）	議題1：市民がつくる市民大学の設立にむけての構想を進める （仮題） 議題(2)：次回、第3回生涯学習審議会で提出案の中から内容を決定する。
審 議 経 過 （主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。） 説明者 ○＝委員 ●＝事務局	<p><b>報告事項1：生涯学習審議会会長・副会長の選出について</b>          &lt;事務局が資料を読み上げる&gt;          ●只今の説明について質問等を受付ける。          &lt;質問等なし&gt;</p> <p><b>報告事項2：令和4年度社会教育関係団体に対する補助金の交付について</b>          &lt;事務局が資料を読み上げる&gt;          ○質問等を受付ける。          ○最終的に決定した額について示してもらいたい。          ●補助金決定額について文化協会へ、令和3年度予算額2,394,000円、令和4年度2,520,000円、音楽文化振興協会へ、令和3年度予算額475,000円、令和4年度500,000円、郷土芸能連絡協議会へ、令和3年度予算額240,000円、令和4年度252,000円です。令和3年度においてはコロナウイルスの関係で補助金の減額措置をとった。令和4年度からは、減額等ない状態に戻っている。</p> <p><b>議題1：令和4・5年度の生涯学習振興の検討テーマについて</b>          &lt;事務局が資料を読み上げる&gt;          ○例えば、大島紬を検討テーマとした場合は、それをどんどん掘り下げていくような審議になってしまうのか。          ○それでは審議会で審議していくような内容のものではなくなってしまいうので生涯学習として生かしていくような、生涯学習をより充実、向上させていくような検討テーマを選定すべきである。          ○ピンポイントなテーマだと、絞られた内容の検討になってしまう可能性が高い。          ○例えば、個別にテーマを上げて、それを包括的に網羅できるようなテーマへと広げていくような形をとったらどうか。</p>

○それでは、やはり個別の狭いテーマが先行してしまうので大きなテーマを決め、そこから波及する事例や、問題点、最終的なゴールを考えていくような形にしたほうがいい。

○過去のテーマはどんなものがあるのか。

●過去テーマについて読み上げる。以前検討したテーマなども再び検討することも可能である。

○市民が自律的に学べる、活動できる場所、市民大学の設立について検討し、生涯学習の推進を目指していくようなことをテーマとしたらどうか。

○他分野にわたる広く多くの人が生涯学習などを生かして活動し、活躍できる場を検討していくことで、色々と問題点があるであろうがそこを市民主導でできるような形をつくれるよう検証し、最終的にはそれを市への提言書など出せるようなところまで形にしていければいい。

○個人的な意見となってしまうが、居場所づくり特に高齢者の居場所づくりについて検証するのはどうか。自分の経験からも、一旦仕事をリタイアしたあと、何をするのかとなったときに、例えば「老人会」に入ろうとした場合、現状は既にいる会員のつながりみたいなものが存在しており、後から入る人にとっては大変敷居が高いような状況が存在している。高齢者が増え続ける中で、新たに加わろうとする人たちの居場所を検討していくというのはどうであろうか。

○居場所のイメージとはどういったもの？

○人によって様々であるのは前提である。それぞれの目指すものにマッチングできるような受け皿が欲しいと思う。サークルそのものが少ないのか、探すにも探しづらいという壁が存在している。

○居場所づくりという部分を含め、市民大学というものが存在したらそれがその役割を果たすものになると思う。大学なので、学びの場を作ることはもちろん、サークル活動も行える、様々な目的を持った人たちが広く活動できる場所にすることが大切になってくる。

○サークル活動という面ではコロナでサークル活動が鈍くなっている。活動が停止してしまってからそれを元に戻す体力を失ってしまっているように感じる。

○従前の会議から3会議が統合された意味を考えながら生涯学習、居場所づくり、教育などの分野について教養のレベルアップに向けたテーマづくりをしたらどうか？

○他市の状況から武蔵村山市の生涯学習の分野を比較すると、大変遅れていると感じている。学校教育、社会教育をもっとしっかりし、根本を改善して底上げをし、市民の文化度を上げる必要があると思う。

○市に対する提案はまず、どこにしたらいいのかわからない、たらいまわしにあうような状況も存在する。こういった部分ももっともっと明確にする必要があると思う。

○市は協力をしてくれるが中心となっては動いてくれない。それにはお金がない等々の課題がある。

○今話し合っているのは、「達成」をゴールとした中でのお話をしているが、まずは大きなテーマを1つ挙げ、その中で波及していく部分について少しずつ掘り下げながら話し合っていくような

	<p>形をとってはどうか。</p> <p>○市民大学という部分を柱にそこで出てくる問題点について話し合っていくとうことで、最終的なテーマとしては、「市民がつくる市民大学の設立にむけての構想を進める」（仮題）ということで決定したい。</p> <p><b>議題2：令和5年度の公民館講座について</b></p> <p>&lt;事務局が資料を読み上げる&gt;</p> <p>●只今の説明について質問等を受付ける。</p> <p>○区分ごとに提案できる講座数は決まっているのか、講師の候補は上げた場合紹介するような形となるのか。</p> <p>●講座の提案数は特に設けておりません。講師の選定は必しもその方にするというだけでもなく、ご紹介いただける方がいらっしゃったらご提案いただきたいというところである。</p> <p>○令和3年度の講座の募集人数と参加人数を教えてください。</p> <p>●令和3年度の各講座の募集人数、参加人数、参加率読み上げ。</p> <p>○資料に、講座受講者の感想など一緒に添付してもらいたい。</p> <p>○講座のカテゴリー分けについて、家庭教育講座と、市民講座の区分の分け方が明確でないが、この区分分けは必要があるのか？来年度は難しいとは思いますが、令和6年度からは、このカテゴリー分けを撤廃してもいいのではないかと。</p> <p>●確かに、家庭教育講座と市民講座について明確な線引きのようなものはないが、家庭教育講座については、家庭生活がより充実をするようなお子さんがいるくらいの年代に向けた講座である。市民講座は幅広くどなたにも受講してもらえらるような形を想定している。</p> <p>○家庭教育講座で行う講座の題名を工夫するなどして家庭教育を全面に出すような工夫が必要だと思う。</p> <p><b>その他：第3回生涯学習審議会の開催日程について</b></p> <p>&lt;事務局が資料を読み上げる&gt;</p> <p>●只今の説明について質問等を受付ける。</p> <p>●次回日程については各自日程を確認いただき講座案の提出時に予定表を提出してもらおうこととする。</p>
--	--

<p>会議の公開・非公開の別</p>	<p>■公開 □一部公開 □非公開</p> <p>傍聴者： 0 人</p> <p>※一部公開又は非公開とした理由</p> <p>( )</p>
--------------------	---

<p>会議録の開示・非開示の別</p>	<p>■開示 □一部開示（根拠法令等： ) □非開示（根拠法令等： )</p> <p>庶務担当課 教育委員会 教育部 文化振興課（内線：656）</p>
---------------------	--